

わかやま 県議会 だより No.17

平成24年[2012]
8月11日発行(年4回発行)



きいちゃん

平成27(2015)年に和歌山県で開催される
紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会の
マスコット、紀州犬の「きいちゃん」!



6月定例会号

主な記事

- 2~3面 平成24年6月定例会の概要
- 4~5面 議員紹介
~あなたのまちの議員を紹介~
- 6面 各委員会の紹介
- 7面 和歌山県がん対策推進条例(仮称)
~県民意見募集~
- 8面 議会活動/県議会からのお知らせ

安全・安心 への挑戦!



山下直也 議長

県民の命を守れ!!

山下直也 議長 東日本大震災の被害に遭われた岩手県山田町の町長がおっしゃっていた「とにかく逃げろ」という言葉が強烈に印象に残っています。まず、そのために、繰り返し訓練を実施し、万が一のときに迅速に避難できるように備える自助の取組が必要であり、それをサポートする施策が重要になってきます。安全な避難路の確保や、県民にとって命の道と云っていい紀伊半島を一周



和歌山県立医科大学附属病院にて
(中央左: 岡本恭子 看護部長 右: 温井由美 看護師)

がん対策推進条例の 制定をめざして!!

議長 県議会では、がん対策推進に係る条例案検討会で議論を重ねています。がん医療における看護師さんの役割について、岡本看護部長さんのお考えを聞かせてください。

岡本看護部長 がん医療における看護師の大切な役割には、がんを診断されたときから患者さんがその人らしく生

する高速道路の早期実現も大切です。また、災害弱者に手を差し伸べる共助のシステムもきつちつくっていかねばなりません。これらを考えると、やはり公助として何ができるか、県と県議会が一緒になって考えている体制づくりをしていかなくてはなりません。

浅井修一郎 副議長 議長が言われたことに加え、いかにスムーズに県全域に情報を伝達できるかということも大事になってきます。県内の隅々まで必要な情報が届くよう市町村をはじめとする関係機関、メディアとの連携強化を図り、リアルタイムに発信していくシステムづくりができればと思っています。

副議長 温井さんは、がん看護専門看護師と何っております。がん看護の現場のお話などを聞かせてください。

温井看護師 私は7年前から、がん看護の相談を受けています。患者さんからは、再発や転移の不安などの相談に加え、最近では経済的な悩みとの相談が増えています。

活を送れるように、ご家族を含めた支援をすることがあります。そのためにも、患者さんを中心としたチーム医療が不可欠であり、その充実が重要であると考えます。その中で、患者さんやご家族に一番近い存在の看護師は、診療や治療に関連する業務から療養生活の支援に至るまで幅広い業務を担っています。専門的な知識、すぐれた判断力や技術、コミュニケーション能力を持ったチーム医療のキーパーソンとして期待されています。



中で一生懸命に生

愛すべきふるさとに!!

活をされている姿に日々触れ、少しでも支援したいとの気持ちで自然に起こってきます。私たちも患者さんやご家族の方々の不安や悩みに寄り添いながら、その人らしい生活を送れるように努力していますが、法律や条例によってがん患者さんとご家族を支援する体制づくりをお願いしたいですね。

副議長 議長をしつかりサポートし、県民の皆さんに身近でわかりやすい議会運営をめざしたいと考えています。また、私は安全で安心して暮らすことのできる明るいまちづくりを力を入れてきました。今後もそういった施策を推進していくとともに、若者が定住できるまちにしたいという企業支援、企業誘致も大事だと思っています。加えて、この風光明媚な和歌山県を全国へPRしていくよう県議会が一丸となり、真の観光立県を県民の皆さんとともに実現していきたいと考えています。



浅井修一郎 副議長

知事提出議案ほか、 意見書・決議を可決

6月定例会 の概要

6月12日～6月29日の18日間

会期中の主な動き

- 議長及び副議長の選挙 (6/13)
- 委員及び正副委員長の選任
 - 常任委員会、予算特別委員会及び議会運営委員会 (6/13)
- 委員長の辞任及び選任
 - 人権・少子高齢化・環境問題等対策特別委員会 (6/13)
- 関西広域連合議会議員の選挙 (6/13)
- 特別委員会の開催
 - 行政改革・基本計画等に関する特別委員会 (6/25)
 - 東南海・南海地震等対策特別委員会 (6/28)
- 条例案検討会の開催
 - がん対策推進に係る条例案検討会 (6/27)

一般質問議員 16人

6月19日(水)	6月20日(木)	6月21日(金)	6月25日(月)
大沢広太郎	花田 健吉	長坂 隆司	藤山 将材
中 拓哉	多田 純一	濱口 太史	松坂 英樹
高田 由一	奥村 規子	岩田 弘彦	片桐 章浩
岸本 健	立谷 誠一	鈴木 太雄	中村 裕一

6月定例会の主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は、下記のとおりです。(要約抜粋)

防災

防災対策

問 地震・津波対策で第一に推進しなければならないのは避難先の確保対策とそれの住民への周知徹底であるが、その取組は。

答 県の「防災・減災対策の総点検」において、避難先の安全レベル設定とともに、市町村による避難路の新たな整備・改良を、県として最優先で支援することを打ち出している。予算も確保しており、今後も引き続き支援していく。

津波から逃げる意識づけ

問 東日本大震災のとき、県内で初めて大津波警報が出されたが、避難指示・勧告対象者の避難率は3・2%であった。県民への意識づけが重要であるが、どう取り組んでいくのか。

答 県が考案した避難先に安全レベルを設定することや家族で避難場所・避難経路を話し合い「避難カード」を書く取組などは、「逃げる」意識が行動につながるよう意図したものである。「出張！県政おはなし講座」などの実績でも、平成23年度の延べ受講者数は前年度比約3倍の2万8000人を超えており、現在は逃げる意識が高まっていると考えているが、年々経ると記憶が薄れていくおそれもあるので、引き続き、さまざまな手法で粘り強く取り組んでいく。



学校避難所のマニュアル整備

問 学校の避難所運営マニュアルの有無については、6割以上でマニュアルがないことが判明した。避難所リーダーの研修や避難所運営マニュアルについて現状と今後の見通しは。

答 地域防災リーダーの育成講座として紀の国防災人づくり塾を平成17年から開講してきており、昨年度までに821人が修了している。長期総合計画の育成目標を大幅に上回るペースで進んでいるが、避難所運営マニュアルについては18市町村で未作成であるので、平成20年に策定した避難所運営マニュアル作成モデルの内容をさらに充実させ、積極的に助言していく。

道路

熊野川河口大橋と市内アクセス

問 近畿自動車道紀勢線の整備は、地域が待ち望んでいた熊野川河口大橋が現実のものとなることを意味するが、熊野川河口大橋と新宮市内へのアクセスを円滑にするための計画はどうか。

答 熊野川河口大橋を含む近畿自動車道紀勢線の新宮～大泊間では、現在、計画段階評価を進めるための調査が実施されており、今後、アンケート調査などをとるルートや構造等の検討が進められる。市内からのアクセスについては、新宮市から、インターチェンジの配置等に配慮し、生活道路としての機能も兼ね備えた道路とするよう要望されており、県としても、地域の意見が十分反映されるように国に働きかけていく。

産業

地域イノベーション戦略支援プログラムの活用

問 文部科学省の地域イノベーション戦略支援プログラムに「地域資源を活かした健康産業イノベーション」が採択された。このプログラムを活用してどのような研究開発をし、商品創出を推進するのか。

答 過去に実施された都市エリア事業の成果を活用し、梅酢ポリフェノールの抗疲労効果や高血圧抑制効果等について医・農分野の研究者が臨床研究を実施することによりその効果を立証し、健康機能の科学的根拠の裏づけを行い、それをもって県内企業が健康機能商品の開発をめざすものである。参画企業は、その効果をもとに梅酢ポリフェノールを活用した一般飲料やトクホ等を開発するとともに、産学官が一体となった食品産業と化学産業を融合した新たな健康産業の創出と梅関連産業の振興に取り組む。

県経済の現状と中小事業者支援

問 県経済の現状と今後の見通し、消費税増税に対して先行き不安を感じている中小事業者への支援策などの考えはどうか。

答 本県経済は、一部に改善の動きもあるが、全体の景況は依然として厳しい。増税が決定すると、税率引き上げ前は駆け込み需要で景気が上向くが、引き上げ後には反動で消費の減少が予想される。そのため、国で検討されている適正な価格転嫁の取組について県としても情報提供などに努めたい。また、技術開発や販売促進など、企業の成長を支援する幅広い事業を実施し、少しでも支援していきたい。

大規模小売店舗の出店規制

問 小さな地域社会を守るため、大規模小売店舗立地法の改正を求めたい。せめて1〜2万人規模の町村に対しては制限をかけるなど、国に進言すべきでは。

答 市町村は「まちづくり3法」を活用して地域の実情に沿った総合的なまちづくりと適正な大規模店の配置を考えることができるので、県としては、大規模小売店舗立地法の改正ではなく、市町村のまちづくりをより一層進めるよう助言・指導を行っていく。意欲のある商店街等には、政策的な枠組みもつくっているし、市町村と一体となって活性化が図れるよう可能な限り支援していきたい。

用語解説

まちづくり3法
都市計画法、中心市街地活性化法、大規模小売店舗立地法の総称

梅の生育不良

問 御坊火力発電所の稼働率上昇に伴い、数年後には影響が出る可能性も否めないことから、将来的に梅栽培に与える影響をも考慮した対応を検討すべきではないか。

答 従来、うめ研究所を中心に養水分管理、適正着果量などの研究を行い、その成果をウメ栽培管理マニュアルに反映させ、現場指導に努めてきた。しかし、電力不足対策に関連し、火力発電所の稼働率が高まることに、生産者が不安を感じていることは承知している。今後も梅生産の維持発展を図るため、大気環境の変動に注視しつつ、生育不良の発生状況の把握に努め、試験研究や改植など、地域にとって必要な対策を引き続き実施する。

議案等の議決結果

項目	件数	件名	結果
予算案件(知事提出)	1件	平成24年度和歌山県一般会計補正予算	可決
条例案件(//)	9件	和歌山県税条例の一部を改正する条例 等	同意
人事案件(//)	4件	和歌山県監査委員の選任につき同意を求めるについて 等	可決
その他案件(//)	7件	関西広域連合規約の一部の変更について 等	承認
知事専決処分報告(//)	2件	和歌山県税条例の一部を改正する条例 等	承認
意見書・決議	13件	尖閣諸島をはじめ我が国の領土及び領海を守る体制整備を求める意見書	可決
		地方の道路整備のための財源確保を求める意見書	
		地方財政の充実・強化を求める意見書	
		登記の事務・権限等の地方への移譲に反対する意見書	
		中小企業等が加入する健康保険の保険料負担の軽減を求める意見書	
		「障害者総合支援法」に関する意見書	
		再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を求める意見書	
		「防災・減災ニューディール」による社会基盤再構築を求める意見書	
		東日本大震災により生じた災害廃棄物の広域処理の推進等に関する決議	
栄養教諭配置促進にかかる決議	否決		
非核三原則の早期法制化を求める意見書 他2件	否決		



県議会初代議長 濱口梧陵 像

教育

PTA事務の適正化

問 監査委員の指摘により、県費で賄うべき非常勤職員の見金や施設の修繕費がPTA会費から支出されていたことが判明したが、実態に即し、校長や教員等がPTAの事務を手伝えるようにすべきではないか。

答 PTA活動は保護者と学校職員が一体となって行うものであり、PTAの会計業務については、学校がPTAから委任を受けた上で校長が学校職員に命じた公務であると考えている。そのため、関係規則の中に新たに業務委任について規定し、その位置づけを明確化していく。



エネルギー

大飯原発再稼働への評価と原発に対する考え

問 知事は、野田首相の大飯原発再稼働表明を評価したいなどと述べたが、どこをどう評価するのか。また、関西広域連合において、知事として原発をどのように位置づけてかわっていくのか。

答 大飯原発の再稼働については、国民生活を守るという観点から動かすべきだと判断したことは適当と認識している。関西広域連合のエネルギー検討会においても「関西における中長期的なエネルギー政策の考え方」を検討することになっており、その中で、原発への過度な依存を見直し、新たなエネルギー社会の構築等を十分議論していくということに参加していく。

通学路の安全対策

問 4月に京都府亀岡市で登校中の児童の列に車が突っ込むという事故があった。県内でも、登下校中の交通事故件数は平成22年度84件、平成23年度71件と多いが、通学路の安全対策は。

答 通学路の安全対策については、教職員をはじめ安全ボランティアによる登下校時の通学路における見守り活動を充実させるよう働きかけるなど、積極的に取り組んできた。また、亀岡市の事故を受け、文部科学省より通学路の安全対策について関係者が緊急に合同点検するよう依頼があり、県教育委員会は、学校、警察、道路管理者、保護者等が連携して危険箇所を抽出したり、必要対策を検討するよう市町村教育委員会、県立学校に通知した。

電力の安定供給

問 電力不足は今夏だけの問題でなく、いつ停電するかわからないという発展途上国並みの電力事情が今後も何年間か続く。電力の安定供給のために何をすべきか。

答 安定した電力供給のためには、安全性を確認した上で当面は原子力に頼らざるを得ない。リスク管理などすべての要素を含め、どのような組み合わせが量的、質的に安定して供給できるかが重要であり、政府はこれらを踏まえ、ぶれないで国民に説明する必要がある。秋以降の安定供給については、情報を十分に収集・分析し、必要な時点で適切に判断し、行動していく必要がある。

ダンス必修化に伴う曲の選定

問 今年度より中学校でダンスが必修化されたが、ふるさとにゆかりのある曲でダンスに取り組むことは、ふるさとを愛し、誇りを持ち、きずなを深める大きな効果を生み出すが、どう考えるか。

答 ふるさと教育の観点から、生徒がふるさと和歌山を愛し、きずなが深まるような郷土ゆかりの曲を積極的に取り入れるよう、各市町村教育委員会や学校に指導していく。体育祭では、ぶんだらや紀州よさこいを踊ると盛り上がり一体感が出るので、そういう意味で、運動を通して子どもたちがきずなを深め、お互いを大事にし、励まし合うきっかけになればと考えている。

バス

JR御坊駅の早期バリアフリー化

問 御坊駅は、日高地方の玄関口で、通勤・通学にとっても重要な駅である。電車とホームの段差解消、エレベーターの設置など、一刻も早いバリアフリー化をJR西日本に働きかけてほしい。

答 1日に3500人余の乗降客がある上、乗り継ぎでの利用も大変多く、地域の拠点駅として改修の必要性を認識している。平成27年には国体や全国障害者スポーツ大会も開催されるので、御坊市とも連携しながら、早期のバリアフリー化をJR西日本に働きかけていきたい。



地域ひろ

「あらぎ島」を生かした地域ひろ

問 第19回全国棚田サミットが来年初、あらぎ島を中心に有田川町で開催されることとなり、宿泊棟や体験施設などの整備も進められている。県にも各分野連携した積極的な支援を求めたい。

答 あらぎ島の景観は国内外に誇り得る重要な地域資源であり、県内初の重要な文化的景観に選定されれば、地域の活性化に大きな起爆剤となる。全国棚田サミットの誘致は、地域の方々の生活や歴史文化を実感してもらえ、絶好のチャンスなので、地域の動きにも積極的に参加しながら、地域資源の活用にも目を向けて、持続的な広がりのある立派な地域をつくってきたい。



きたい。

消費税増税問題

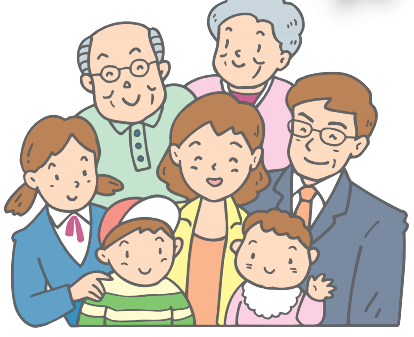
問 野田内閣は何が何でも増税を押し通そうとしている。県経済と県民の暮らしに大きな影響を及ぼす消費税増税に対しては、中止を求めるべきではないか。

答 社会保障制度を維持するための改革は必要で、そのために最後の財源である消費税を充てることは理解できる。ただ、最後の財源であるからこそ、国民の十分な理解が大切である。また、増税する場合は、経済状況の好転施策、低所得者対策、適正な価格転嫁への取組等の対策が適正になされるべきである。

議員紹介



あなたのまちの議員を紹介します。



橋本市 (定数3人)

桜を4500本植栽しましたが今後も続けます。地元の発展に繋がる地域コミュニティーFM開局を目指します。



向井 嘉久藏
むかい かくぞう
党派 自由民主党県議団

現場主義を徹底し、県民地域の皆様の声をよく聞き、反映していきます。県勢、地域発展のため、取り組みます。



平木 哲朗
ひらき てつろう
党派 自由民主党県議団

全国に誇れる魅力あふれるまちづくりと住民目線の行財政改革を柱に地域活性化のスピードアップを目指します。



岩田 弘彦
いわた ひろひこ
党派 刷新クラブ

岩出市 (定数2人・欠員1人)

正直者がむくわれ、流した汗がむくわれ、幸せを分かち合える政治、善きものを実現するためにがんばります。



山本 茂博
やまもと しげひろ
党派 自由民主党県議団

伊都郡 (定数1人)

県士の強靱化のために国道、県道、市町村道の改修促進と河川改修、砂防事業などの強化で県士の保全をはかる。



門 三佐博
かど みさひろ
党派 自由民主党県議団

紀の川市 (定数3人)

未来を担う子どものため、地域の活性化、教育の充実、人にやさしい政治、躍動する和歌山を実現します。



岸本 健
きしもと たけし
党派 自由民主党県議団

紀の川市には、農商工すべてに、バランスのとれた地域力がある。熱い思いで新しい息吹きを注ぎたい。



山田 正彦
やまだ まさひこ
党派 自由民主党県議団

地域によって少子高齢化が進み、過疎化の傾向にある。特性を生かすことにより県の活性化も図ることができると。



服部 一
はっとり かずみ
党派 自由民主党県議団

田辺市 (定数3人)

農林水産業の振興を図り、加工、流通、観光、商業施設との連携に努め、雇用創出を目指します。



鈴木 太雄
すずき たいゆう
党派 自由民主党県議団

移り変わりの激しい現在、絆と愛が世の中から薄れつつあるのは、災害復興に全力投球で取り組めます。



大沢 広太郎
おおさわ ひろたろう
党派 自由民主党県議団

紀伊半島大水害からの復興。美しい故郷を取り戻し、子や孫達に胸をはれるような復興をめざし取り組んでいます。



谷口 和樹
たにくち かずき
党派 改新クラブ

御坊市 (定数1人)

みんな元気になろう！和歌山には自然や文化がいっぱいあって、世界中に自慢できる素晴らしい観光地。



中村 裕一
なかむら ゆういち
党派 自由民主党県議団

西牟婁郡 (定数2人)

自然の中で生まれ育まれ、自然と共に生き自然に同化する。自然を生かされる生活、引き継ぎたい次の世代へ！



立谷 誠一
たちたに せいいち
党派 自由民主党県議団

消費税増税や原発再稼働など政治家の責任が問われる重要な時です。ランニングで体を鍛えてがんばります。



高田 由一
たかだ ゆうかず
党派 日本共産党県議団

新宮市 (定数1人)

台風被害に対する皆様からのご支援に感謝申し上げます。議員2年目、一日も早い復旧復興に全力を注ぎます！



濱口 太史
はまぐち たいし
党派 自由民主党県議団

東牟婁郡 (定数2人)

昨年9月の12号台風災害からの復旧、復興、津波対策、高速道路網の整備、福祉の充実に関民目線で取り組む。



谷 洋一
たに よういち
党派 自由民主党県議団

県民目線が一番に、真面目な信条に「元氣な和歌山県」の実現に全力で取り組んでいます。



前芝 雅嗣
まえしば まさつぐ
党派 自由民主党県議団



和歌山市 (定数15人)

多田 純一 (ただ じゅんいち)
会派 公明党県議団



磨斧作針。泉政の課題に挑戦してまいります。

角田 秀樹 (つのだ ひでき)
会派 公明党県議団



現場第一主義！届けます。あなたの声を県政に！！

中 拓哉 (なか たくや)
会派 公明党県議団



縁あって同じ県民同士「幸せ」を実感できるふるさとに。主権者の皆様の負託に応える議員として働き続けます。

尾崎 太郎 (おざき たろう)
会派 自由民主党県議団



スポーツは元気の源。田中兄弟をはじめ日の丸を背負い世界で戦う県出身の選手を応援しています。

宇治田 栄蔵 (うじた えいぞう)
会派 自由民主党県議団



県ウエイトリフティン グ協会会長就任以来25年、嶋本麻美選手が初めてオリンピック出場を決めました。

長坂 隆司 (ながさか たかし)
会派 改新クラブ



性根の入った仕事には、健康な身体とあきらめない前向きな気持ちが必要。和歌山県にサーブ(牽任)！

藤本 真利子 (ふじもと まりこ)
会派 改新クラブ



県民の皆さんの声が届く政治を胸に、日々精進しています。チルドレンファーストのための政策をめざします。

山下 直也 (やました なおや)
会派 自由民主党県議団



安全安心の確保を基本に、県益の優先に努めています。現在、がん対策推進条例の制定に取り組んでいます。

森 礼子 (もり れいこ)
会派 自由民主党県議団




女性目線、生活者の目線で皆さまと語り、和歌山に住んで良かった。あつて感じられるまちづくりを努めます。

新島 雄 (にいじま たけし)
会派 自由民主党県議団



昨年5月、議長に就任させて頂き、本年6月、無事その任を終えることができました。心から御礼申し上げます。

井出 益弘 (いで ますひろ)
会派 自由民主党県議団



柿みかん桃果物や紀州木材等県産品を国内外に販路拡大。観光客招致。☆防犯灯LED化推進。☆防災対策の具体化

浦口 高典 (うらくち こうてん)
会派 改新クラブ



「がんばろう日本、まけへん」と和歌山「義援金募金活動、地道に継続中！ご協力よろしくお願ひ致します。

片桐 章浩 (かたぎり あきひろ)
会派 改新クラブ



県土を守る防災対策、国体に向けての道路整備、エネルギー政策、雇用の確保などの課題に取り組んでいます。

山下 大輔 (やました だいすけ)
会派 刷新クラブ



必ず創る！希望ある未来。ハングリに馬鹿正直に追求める！優れた自然・環境を生かした和歌山を憧れの地に！

奥村 規子 (おくむら のりこ)
会派 日本共産党県議団



県の水産試験場の養殖ナマコとツリーショーツ。和歌山の自然を生かした農林水産業の発展で安全安心な食物を！！

海南市・海草郡 (定数3人)

雑賀 光夫 (さいか みつお)
会派 日本共産党県議団



海南市の津波避難訓練にケガ人役で参加。安全と安心の政治をみなさんとともに。

藤山 将材 (ふじやま まさき)
会派 自由民主党県議団



次代の担い手となる子どもたちのため、県民の皆さんの生活向上のため、県勢浮揚へまっしぐら！

尾崎 要二 (おざき ようじ)
会派 自由民主党県議団



安全・安心のふるさとづくり。紀の国わかやま団体の成功に向かって全力で取り組んでいます。がんばります！


有田市 (定数1人)

浅井 修一郎 (あさい じゅういちろう)
会派 自由民主党県議団



県民の皆様方が、安全で安心して暮らせる明るく住みよいまちづくりを目指し、誠心誠意頑張っております。

吉井 和視 (よしい かずみ)
会派 自由民主党県議団



改革は地方から。めざせ地方分権！地域のことば地域住民が決定する分権型社会の実現をめざします。

松坂 英樹 (まつさか ひでき)
会派 日本共産党県議団



「有田の豊かな自然環境と暮らしを守る」をモットーに、有田郡、和歌山県内を走り回っています！

日高郡 (定数3人)

富安 民浩 (とみやす たみひろ)
会派 自由民主党県議団



地域の特性を生かした地域方向上に向けて取り組みます。

坂本 登 (さかもと のぼる)
会派 自由民主党県議団



梅、花、野菜、水産。郷土は「2次産品大国」です。より強く豊かな日高を目指します。

花田 健吉 (はなだ けんきち)
会派 自由民主党県議団



県民生活に密着した政策を提言し、皆さんの意見を県政に反映するため努力します。

各委員会の紹介

◎委員長 ○副委員長



議会運営委員会

定数12人

議会の運営に関する事項や議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項等について調査審議する。

- ◎尾崎 太郎 中村 裕一 松坂 英樹
- 服部 一 富安 民浩 多田 純一
- 藤山 将材 花田 健吉
- 山田 正彦 大沢広太郎
- 平木 哲朗 藤本眞利子



特別委員会

重要視されている特定の事項について、専門的に審議する機関。

東南海・南海地震等対策特別委員会

定数17人

東南海、南海地震等諸般の災害に関する施策について調査審議する。

- ◎富安 民浩 花田 健吉
- 片桐 章浩 吉井 和視
- 立谷 誠一 大沢広太郎
- 濱口 太史 谷 洋一
- 鈴木 太雄 谷口 和樹
- 服部 一 長坂 隆司
- 坂本 登 高田 由一
- 前芝 雅嗣 中 拓哉
- 中村 裕一

人権・少子高齢化・環境問題等対策特別委員会

定数10人

人権、少子高齢化、環境問題等に関する施策について調査審議する。

- ◎新島 雄 平木 哲朗
- 多田 純一 岸本 健
- 森 礼子 向井嘉久藏
- 藤山 将材 藤本眞利子
- 山下 直也 奥村 規子

半島振興・交通・産業振興対策特別委員会

定数11人

半島地域の振興対策及び交通、産業の振興に関する施策について調査審議する。

- ◎坂本 登 谷 洋一
- 浅井修一郎 浦口 高典
- 宇治田栄蔵 松坂 英樹
- 山本 茂博 角田 秀樹
- 花田 健吉 山下 大輔
- 大沢広太郎

行政改革・基本計画等に関する特別委員会

定数10人(欠員1人)

行政改革、県行政に係る基本計画等及び関西広域連合について調査審議する。

- ◎山田 正彦 井出 益弘
- 雑賀 光夫 尾崎 要二
- 立谷 誠一 谷口 和樹
- 尾崎 太郎 岩田 弘彦
- 門 三佐博

予算特別委員会

定数19人

県の予算を総合的に審議する。

- ◎中村 裕一 服部 一 富安 民浩 長坂 隆司
- 花田 健吉 坂本 登 岸本 健 松坂 英樹
- 藤山 将材 山本 茂博 向井嘉久藏 角田 秀樹
- 濱口 太史 平木 哲朗 谷 洋一 岩田 弘彦
- 鈴木 太雄 前芝 雅嗣 浦口 高典



常任委員会

常設で、本会議から付託された議案・請願などを、議決に先立って議員で分担して専門的に審議する機関。

総務委員会

定数7人(欠員1人)

総務部・企画部・会計管理者・選挙管理委員会・人事委員会・監査委員 他

- ◎前芝 雅嗣
- 高田 由一
- 新島 雄
- 山下 直也
- 服部 一
- 長坂 隆司



福祉環境委員会

定数7人

環境生活部・福祉保健部

- ◎浦口 高典
- 森 礼子
- 尾崎 太郎
- 浅井修一郎
- 中村 裕一
- 花田 健吉
- 奥村 規子



経済警察委員会

定数7人

商工観光労働部・公安委員会・労働委員会

- ◎平木 哲朗
- 濱口 太史
- 宇治田栄蔵
- 尾崎 要二
- 片桐 章浩
- 角田 秀樹
- 山下 大輔



農林水産委員会

定数7人

農林水産部・海区漁業調整委員会・内水面漁場管理委員会

- ◎山本 茂博
- 谷口 和樹
- 井出 益弘
- 山田 正彦
- 谷 洋一
- 中 拓哉
- 岩田 弘彦



建設委員会

定数7人

県土整備部・収用委員会

- ◎岸本 健
- 立谷 誠一
- 門 三佐博
- 富安 民浩
- 大沢広太郎
- 藤本眞利子
- 松坂 英樹



文教委員会

定数7人

教育委員会

- ◎藤山 将材
- 鈴木 太雄
- 坂本 登
- 吉井 和視
- 向井嘉久藏
- 雑賀 光夫
- 多田 純一



和歌山県がん対策推進条例(仮称)の 県民意見募集について

和歌山県議会では、長らく県民の死因の第1位を占める「がん」の対策を総合的かつ計画的に進め、県民の皆さんの健康の増進を図り、元気で健やかな生活の実現を目的とした、議員提案による「和歌山県がん対策推進条例(仮称)」の制定に取り組んでいます。

これまで、県内でがん対策に携わる医師、看護師やがん患者の会など多くの関係者のご意見を伺いながら検討を重ねてきたところです。

このほど、条例案のあらましをまとめました。このあらましについて、県民の皆さんからご意見をいただき、よりよい条例にしていきたいと考えています。

ご意見の募集は、下記のとおり行います。

がん対策推進に係る条例案検討会

座長 山下 直也	副座長 藤山 将材
森 礼子	長坂 隆司
立谷 誠一	高田 由一
濱口 太史	角田 秀樹
鈴木 太雄	大沢広太郎
山本 茂博	藤本真利子
	岩田 弘彦

和歌山県がん対策推進条例(仮称)の内容

目的

この条例は、「がん」が長らく県民の死因の第1位を占めてきたことを踏まえ、がんの予防及び早期発見を推進するとともに、がん患者及びその家族が置かれている状況を深く認識し、療養生活に伴う様々な不安を軽減することで、がん患者を含むすべての県民がいきいきと生活することができるように、がん対策の推進に関して必要な事項を定めることにより、がん対策を総合的かつ効果的に推進することを目的とします。

基本理念(七位一体の取組)

がん対策は、がん対策に関わる関係者が緊密な連携のもと、一致協力しなければならない困難な課題であることから、県民、行政(県・市町村)、保健医療関係者、教育関係者、事業者、報道関係者、県議会の7つの主体が一体となって取り組みます。



県の責務

●本県の実情に応じた基本的施策の実施・推進

- | | |
|---------------------|--|
| (1) がんの予防の推進 | (7) 在宅医療の推進 |
| (2) がんの早期発見の推進 | (8) がん登録の推進 |
| (3) がん医療の充実 | (9) がんの種類に応じた対策の推進(肺がん、小児がん、女性に特有のがん等) |
| (4) がん医療に関する情報提供 | (10) 県民運動の推進 |
| (5) がん患者及びその家族等への支援 | (11) 必要な財政上の措置 |
| (6) 緩和ケアの充実 | |

環境整備

連携協力

県民の役割

- 知識を深め予防に注意を払う
- 積極的ながん検診の受診
- 県民みんなでがん対策の推進

関係者の役割

- 市町村
 - ・がん予防に関する知識の普及啓発
 - ・がん検診受診の推進
- 保健医療関係者
 - ・がん対策に関する施策への協力
- 教育関係者
 - ・がんに対する正しい知識の教育
- 事業者
 - ・従業員のがん予防・早期発見・治療等に対する環境整備
 - ・受動喫煙防止の取組
 - ・がん対策に関する施策への協力
- 報道関係者
 - ・がんに関する報道への取組

政策提言
監視・評価

県議会の役割

- がん対策に関する政策決定・政策提言
- 知事等の事務執行に対する監視・評価

あなたのご意見をお待ちしております!!

①募集期間:平成24年8月10日(金)から平成24年8月31日(金)まで

②詳しい内容は…

県議会ホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/200100/www/index.html>

県の機関でも、配付します。

- 和歌山県議会事務局 政策調査課・図書室(県庁議会棟・北別館2階)
- 和歌山県情報公開コーナー(県庁本館2階)
- 各振興局健康福祉部

③ご意見の提出方法

住所、氏名を明記して、次のいずれかの方法でお送りください。様式は自由です。

Eメール:e2003001@pref.wakayama.lg.jp

FAX:073-441-3581

郵送:〒640-8585

(宛先住所の記載は不要です。)

和歌山県議会事務局 政策調査課政策班

※Eメールをご利用いただけると幸いです。

電話でのご意見は受け付けておりませんので、ご了承ください。



QRコード

④ご意見の取扱い

いただいたご意見は、個別にお返事はいたしません。取りまとめの上、ご意見とその回答を県議会ホームページで公表する予定です。その際、住所・氏名などの個人情報は公表いたしません。また、この意見募集以外の目的に使用することはありませんので、安心してご意見をお寄せください。

⑤お問い合わせ先

和歌山県議会事務局 政策調査課政策班
☎073-441-3580(直通)

i Information

県議会からのお知らせ

テレビ・ラジオ放送

定例会の質問と答弁の様子や委員会の審議状況、議案の審議結果などをお知らせしています。

テレビ テレビ和歌山(WTV)

県議会だより 開会、質問、閉会日の22時30分から25分間放送
(9月定例会の放送予定 9/12、19～21、24、28)

県議会手話だより 閉会日の約1週間後に、22時30分から30分間放送

ラジオ 和歌山放送(WBS)

県議会ダイジェスト 開会、質問、閉会日の22時から15～30分間放送(9月定例会の放送予定 9/12、19～21、24、28)

県議会ホームページ

和歌山県議会

和歌山県議会

検索

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/200100/www/>

- 県議会のしくみや主な動き、議員紹介、議会日程、質問項目、本会議録など様々な情報を掲載しています。
- 議会開会中は、質問など本会議場での模様を**生中継**しています。また、この**中継録画**や**テレビ広報番組の録画**をいつでも見ることができます。

傍聴してみませんか

- 本会議は、申込みなしで傍聴できます。
- 委員会の傍聴は、事前の申込みが必要です。

平成24年9月定例会 会期日程(予定)

本 会 議	9月12日(水)
本 会 議 (質 問)	9月19日(水)～21日(金)・24日(月)
常 任 委 員 会	9月25日(火)・26日(水)
本 会 議	9月27日(木)・28日(金)

※この日程は予定ですので、変更されることがあります。
傍聴を希望される方は、開催日時等をお確かめください。

「点字版・テープ版」のご案内

本紙の点字版、テープ版(ボランティアの方による朗読)を作成しています。

虚礼廃止にご理解・ご協力を!

県議会では、虚礼を廃止した議員活動を行っています。

- 冠婚葬祭、慶事、見舞い及び各種行事等における寄附行為の禁止(本人が出席する結婚式の祝儀、香典等は除く)
- あいさつ状の禁止
- 議員名、議員団名及び会派名による年賀・暑中見舞い等の各種広告の禁止
- 中元や歳暮の贈答はしない
- お祝い・おくやみ電報等は出さない(親戚・友人は除く)



発行日/平成24年8月11日
編集・発行/和歌山県議会 ☎ 073-441-3560
〒640-8585(県庁専用郵便番号) 和歌山市小松原通1-1

Topics

議会活動を紹介



農林水産業振興への取組を提案

関西広域連合議会において、本県選出の吉井和視議員、尾崎要二議員は、農林水産業振興のための地産地消の取組の必要性について、これまで提案を行ってきましました。

6月30日に開催された関西広域連合議会6月臨時会の一般質問において、尾崎要二議員が関西広域連合における農林水産振興への取組について質したのに対し、仁坂副連合長(和歌山県知事)から、広域連合において産業振興の分野を担当する広域産業局内に新たに農林水産部を設置し、仁坂知事が担当委員を務めることとなった旨答弁がありました。今後、地産地消運動をはじめとした農林水産産業振興への取組が行われることとなります。

関西広域連合議会ニュース

産業環境、防災医療の常任委員会を設置

関西広域連合議会議員の本県議会選出人数の増加及び吉井和視議員の広域連合議会議員辞職に伴う議員の選挙が本県議会6月定例会で行われ、新たに中村裕一議員と中拓哉議員が全会一致で選出されました。今後は、尾崎要二議員とともに3名の議員により、本県議会を代表した広域連合議会活動が行われます。



なお、広域連合議会6月臨時会において、従前からの総務常任委員会に加え、新たに産業環境常任委員会及び防災医療常任委員会を設置することと決定し、産業環境常任委員会委員長に本県の中村裕一議員が選出されました。

Report 特別委員会活動報告

人権・少子高齢化・環境問題等対策特別委員会

人権・少子高齢化・環境問題等対策特別委員会では、7月10日、11日の2日間、県内調査を行いました。

特別養護老人ホーム白寿苑(日高川町)では、施設の運営状況とともに、昨年9月の紀伊半島大水害において一時孤立状態となり停電・断水が発生した際の対応について説明を受けた後、災害に備えた非常食や非常用自家発電機の配備状況、行政機関との連絡体制等について意見交換を行いました。



田辺市龍神行政局では、都市部から離れた中山間地である龍神地域の少子高齢化対策について説明を受け、委員からは、龍神地域が緑に恵まれ子育てしやすい環境であることをもって売り出していってはどうか等の意見が出されました。

日高川町役場では、昨年の大水害において大量発生した災害廃棄物の処理経過や甚大な被害からの復旧・復興の状況について説明を受けるとともに、災害廃棄物の集積場所であった南山スポーツ公園横の町有地を調査し、引き続き復旧・復興に互いに取り組むことを確認しました。

訃報

川口文章議員(岩出市選挙区選出・自由民主党県議団)が、平成24年6月7日逝去されました。心より御冥福をお祈りいたします。